

医療事故・紛争対応研究会 第12回 年次カンファレンス

平成30年3月2日(金)13:20～17:30、3月3日(土)9:30～16:30

※2日(金)は会員を対象とし、3日(土)は会員および一般の方を対象としています。

はまぎんホールヴィアマーレ (横浜市西区みなとみらい3-1-1横浜銀行本店ビル1階)

1日目 3月2日(金)：会員を対象(当日入会者もご参加いただけます(会員年会費：3,000円))

教育講演 (13:30~15:30)

座長 済生会新潟第二病院 副院長/TQMセンター長 酒井靖夫

1. インフォームド・コンセントの要件 - 医療の場合と研究の場合を比較しつつ
慶應義塾大学大学院 教授 前田正一
2. 裁判例にみる、転倒・転落事故と過失の構造：医療従事者が注意すべきこと
愛知県弁護士会 弁護士 島幹彦

会員報告 (15:45~17:25)

1. インシデント再発防止に必要な改善文化の構築 国立病院機構 姫路医療センター 嶋崎明美
2. 臍帯血の取り扱いに関する法律家の意識：弁護士を対象とした全国調査の結果 慶應義塾大学 石田優理亜
3. 宗教上の理由による小児の輸血拒否と審判例 早稲田大学 原田香菜
4. スイスへの渡航自殺幫助がもたらす影響—世界の安楽死議論の契機として— 日本医師会総合政策研究機構 田中美穂

2日目 3月3日(土)：会員および一般の方を対象

基調講演：医療安全管理 (9:40~12:20)

座長 北海道大学病院 医療安全管理部 教授/部長 南須原康行

1. 医療安全のトップマネジメント：長年にわたる医療安全管理の経験を踏まえて
北海道大学病院 病院長/北海道大学 副学長 寶金清博
2. データに基づく医療・看護の質の評価
慶應義塾大学 医学部医療政策・管理学教室 教授 宮田裕章

教育セッション：医療記録と事故・紛争・裁判 (13:20~15:20)

座長 製鉄記念広畑病院 副院長 巽祥太郎

1. 医療記録の書き方・監査の仕方、院内教育のあり方
国立病院機構 姫路医療センター 臨床検査科長 嶋崎明美
2. 医療関係記録（診療録、看護記録、読影レポート、病理診断レポート、手術ビデオなど）と
事故・紛争 東北大学病院医療安全管理部 特命教授 藤盛啓成
3. 医療記録と法・裁判：記載事項・不記載事項に対する法的評価等、医療記録に関する諸論点に
ついて 第二東京弁護士会 弁護士 池田守

教育講演：臨床倫理 (15:20~16:20)

座長 かわぐちクリニック 院長 川口雅裕

1. 判断能力の不十分な患者の治療方針決定のあり方 早稲田大学社会科学部 准教授 横野恵

◆申込方法：当研究会のホームページよりお申込みください (<http://plaza.umin.ac.jp/dhsc/>)

◆対象職種：医師・看護師・薬剤師・医療技術者・事務職員・医療安全管理者など

◆参加費：事前申込(事前支払)6,000円(研究会会員5,000円(2日間分の参加費))
当日申込(事前申込者のうち、参加費の未納者を含む)8,000円(研究会会員7,000円(2日間分の参加費))
※ご入金後の返金は致しかねますので、あらかじめご了承ください

◆事前申込締切：平成30年2月21日(水)

◆問合せ先：FAX；020-4664-1995 E-mail；infosmcm-group@umin.ac.jp (問い合わせ専用)